

## しのばず自然観察会より 2019-05 2019.06.09

### 2019年7月の活動 石神井公園散策と自然観察

と き： 7月7日(日) 小雨実施

集 合： 午前**10時10分** 三宝寺池バス停 (緑の小旗が目印し)

(西武バス 荻15 長久保/大泉学園駅南口 ⇄ 荻窪駅北口/阿佐ヶ谷駅前)

荻窪駅北口では改札前をまっすぐ進み、青梅街道に出て左へ ⑦番乗り場9:46

大泉学園駅南口では、改札前のロータリーの左側 ③番乗り場9:58

集合時刻に間に合うには、各駅前のバス停で上記の時刻の便にお乗りください。

ほかに、西武池袋線石神井公園駅よりバス、公園内を半周歩いて到着できます。

持ち物： 筆記用具、双眼鏡、弁当、飲み物、雨具、敷物

参加費：200円

昔々、不忍池の低地をつくったと考えられている旧石神井川の上流域の一つが石神井公園の三宝字池です。ここは低標高ですが、湿地性植物群が天然記念物になっています。

### 2019年4月の活動 東博の庭の散策と植物観察 より

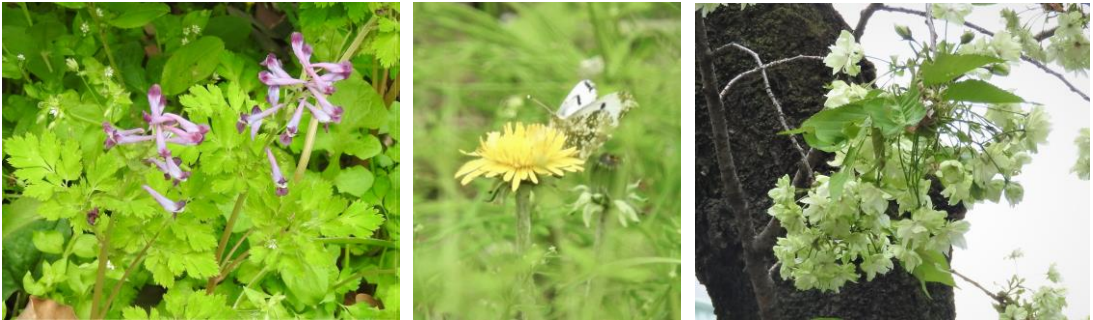
4月の野外活動は14日(日)に18名の参加で東京国立博物館の裏庭・前庭を散策して、残されてきた野草や植栽樹木の花見を楽しみました。在来植物の代表的な種であるカントウタンポポ、シロバナタンポポ、ニリンソウ、キランソウ、ムラサキケマン、(ここまで次ページの写真もこの順)をはじめ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、キュウリグサ、タチツボスミレなどの花が見られました。ツマキチョウのオス(\*)が吸蜜に訪れていました。また、緑色の花のサクラ御衣黄(ぎょいこう)の花(\*)も見ごろでした。

なお、ミヤコグサとお伝えした花は外来種のコメツブツメクサ、フウロソウの仲間はアメリカフウロのようです。在来種そっくりの雑種タンポポ(\*)も見られました(花粉を検鏡して純粋在来種ではないことを確認済)。(印も次ページの写真参照)

3月には裏庭でアマナ(学名 *Tulipa edulis* “日本のチューリップ”が最近まで使われてきましたが、今は学名 *Amana edulis* になっています)の花が見られましたので、写真の最後に加えておきます。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

\*\*2018年以前の会費未納の方もお忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。 \*\*



←雑種タンポポ



←アマナ  
2019. 03. 19

## 上野しのばず学習会 7月はお休み 次回は9月28日(土)を予定

次回のテーマは未定です。ご希望があれば、7月中に小川までご連絡ください。内容によってはお応えできない、または数回先になることがあります。また、会員による発表も歓迎します。

これまで、上野公園の自然と歴史文化やしのばず自然観察会の歴史に係ることを取り上げてきました。今後のテーマ例として、自然観察会の実施技術やアウトドアにおけるノウハウ（観察技術・集団行動・フィールドマナー・安全・法的制約など）、自然保護教育（環境教育）の歴史は小川のレポートリーで可能です。都市計画の一般論は力量外ですが、国が主導する上野公園と谷中を一体にした観光地化と観光客の大量誘致、一方、谷中の歴史文化遺産を守るために決まった上野公園と谷中を貫く都市計画道路の廃止を前にして、沿線の再開発圧力の高まりがあるので、関連の学習はありかも知れません。